

## アーティストからのことば



©浅田政志

### 有門正太郎

・北九州市子ども・若者応援センター-YELL 芸術体験ワークショップ  
・キタQアーティストふれあいプログラム

YELLの事業では、はじめは話す事も苦手な参加者とワークを共にする中で、参加者の顔色が変わりどんどん声が大きくなり様々な変化が見えます。繊細な方が多いからこそ芸術との相性は抜群で最終日の発表を通して自信を持ってYELLを巣立つ方も多く、演劇の力を体感する事業です。学校（教育現場）に出向くことは、子どもも勿論私たちも刺激的な時間。子どもの持つ想像性の高さにもいつも驚きます。

### 田村一行

・北九州芸術劇場 × 北九州YMCA 学院 田村一行舞踏ワークショップ

文化・時代・環境・風土・民族・教育・宗教・言語等、人間はそのあらゆる周囲の物に形作られています。一人一人はそれぞれに自分だけの時間や風景を背負い、それは決して他者が手にする事のできない財産です。大切な感覚を失いかけた時、私は魅力溢れる留学生・大学生の皆様と出会いました。ぜひいつか再会し、私をまた私の知らない身体の旅へと連れて行って下さい。



©小林直博（鶴と亀）



### 泊篤志

・大学演劇ラボ

演劇経験の浅いメンバーが多かった今回の大学演劇ラボ、俳優ワークショップを経て戯曲執筆に挑戦し、テクニカルの実践的な講座…とじわじわ演劇熱を高めていった印象。特に戯曲→テクニカル講座の流れで「自分たちで舞台を作るのだ！」という意気込みがヒートアップしていく様子が眩しかったです。数ヶ月かけて大学生らの創作に寄りそう贅沢なラボ（実験室）でした。

### 藤田善宏

・藤田善宏ダンスワークショップ

僕のワークは他者との関わりの中から生まれる、カラダとココロの動きの変化を大事にしています。コロナ禍の中でも工夫次第でその根本は変えることなく行えます。色々なアイデアを実践し皆さんの反応を見てこのような体験がどれほど望まれていたか強く感じられたし、あらためてワークショップの重要性を思い知ることができました。



©阿部章仁



©Maiko Miyagawa

### 松岡大

・松岡大ダンスワークショップ

ご参加いただいた方々と共に、からだを使って、楽しく、創造的な時間を過ごすことができました。様々なからだのワークを通して、言葉では伝わりきれない、濃密なコミュニケーションが生まれたと思います。お互いの予想もしない動きを目の当たりにして、新鮮な驚きと共に、からだ中の細胞が喜びの様子が見られて私も大満足でした。どうもありがとうございました。



©Ai Hirano

### セレノグラフィカ（隅地菜歩・阿比留修一）

心の中で起こっていることは目で、突き止めようがありません。けれども身体はほとんど何も隠さないで、ありのままをしゃべってくれます。身体がそのおしゃべりを始めるタイミングは1人1人違っています。小さな小さなつぶやきをキャッチするには、待つ。待つ。待つ。やっとこぼれた身体のひと言が、その日の本当のこと。その場の皆を変える光になります。

### 土田英生

・土田英生演劇ワークショップ

参加者の皆さんたちからワークショップに対しての前向きな姿勢が伝わりました。全員で盛り上げてくれたことで充実した時間になりました。今度はもう少し長くやらせてもらいたいと願っています。



©金子愛帆

### 中村蓉

・中村蓉ダンスワークショップ・キタQアーティストふれあいプログラム

人々の貪欲な好奇心に圧倒された劇場ワークショップ。最後、無音の中で全員が踊る「誰かの気配の中で自分と戯れる」姿に、触れ合わなくてもそこに生まれた強い繋がりを感しました。小学校では「まさに今、自分のダンスに出会った人」が放つ「一瞬の輝き」が体育館に溢れました。アイデアを身体に起こす勇氣、うまく伝わった時のニヤッとした笑顔。踊る喜びを、彼らに教えてもらいました。

### 太めパフォーマンス（乗松薫・鉄田えみ）

北九州のプロサッカーチームを応援する「ギラダンス」のワークショップ。準備運動で既にワクワクの目、ひとしきり踊った後は「応援したい人」を皆さんに聞きます。答えは家族や友達、彼の国の大統領など様々。すると最初の「祈る」ポーズが真剣な空気に。子どもたちの身体いっぱいダンスする姿や、振り付けだけでなくイメージを真剣に受け取って踊る姿にいつも胸を打たれます。



©yukiwo



### 守田慎之介

・北九州市子ども・若者応援センター-YELL 芸術体験ワークショップ  
・高校生のための演劇塾  
・キタQアーティストふれあいプログラム・大学演劇ラボ

小学生からご年配の方まで毎年たくさんの人たちと出会えるチャンスをいただき、皆さんに演劇を届けたい、演劇を繋げて行きたいという気持ちと同時に、色んなお話を聞かせてもらったり、思いもよらない素敵な一面を見せてもらったりするのが自分の演劇の栄養分になっているな一つ感じています。これからもお互いにとっての良い出会いがたくさんあることを願っています。